

世界の国からこんにちは 国際理解セミナー スペイン国

11月1日(火)、フェイスビル6階のきららホールにて「第10回国際理解セミナー スペイン国」が開催された。今回は、人々の関心が高く、募集開始から一週間程で定員に達した。

DVDによるスペイン国の紹介、宮協会会長、山崎船橋市副市長の挨拶に続き、ダンサー鈴木眞澄さんとご子息、ギタリストと歌手の四人による美しいメロディーに乗ったダイナミックで迫力あるフラメンコが聴衆を魅了した。

聴衆のスペイン国への興味と関心が充分に高まったところで、スペイン国駐日大使ゴンサロ・デ・ベニート氏のスペイン国についての講演がおこなわれた。

大使は、フラメンコがスペイン国と世界の懸け橋となっていることが誇りであることを強調した上で、スペイン国が持つ現代の活力についても見逃さないで欲しいと多くの活動を熱心に紹介された。スペイン国の食文化、鉄道網、再生エネルギー、ファッション、スポーツ、文化遺産、支援活動などが映像を交えて紹介された。例えば、食分野では、チーズ、生ハム、ワイン、オリーブ油の生産量が世界で上位を占めること、交通分野でのスペイン国の高速鉄道網の充実、太陽電池と再生エネルギーの規模、さらに、ファッション産業での「ザラ(ZARA)」を始め多くのブランドの世

界進出、有名選手の排出からみられるスポーツの振興、多くの名高い文化遺産を中心にした安全な観光産業などなど。盛んなNPO活動に見られる暖かいメンタリティーも強調された。

後半、スペイン国と日本の交流の始まりから現代に至る出来事とその時代的背景を追いながら、これから、政府間協力に加え、民間での協力関係、特に若い人たちの間での交流や協力関係の充実に強い意欲を示された。

この講演を聴き、スペイン国と日本との古くからの繋がりを再認識し、更に一層、理解を深めていける機会になった事を喜ばしく思います。

広報委員 梶川



スペイン国駐日大使ゴンサロ・デ・ベニート氏



迫力あるフラメンコ

留学生帰国 カリフォルニア州立大学・イーストベイ校

船橋市国際交流協会の留学生制度による石丸恵祐さんと椎名健一郎さんが、所定のコースを終了し帰国し、その思いを寄稿してくれました。

【石丸恵祐さんの手記】 あっという間の9ヶ月間の留学生活が終わりました。留学生活で得られた友と、彼らと過ごした時間は一生の宝だと言えます。カリフォルニアは世界中の国々の人々が住んでいる場所で、中でもイーストベイ校はアメリカ有数の人種の多様性を誇る学校です。世界中の学生とともに生活することで、それぞれの国や地域の文化に触れることができ、世界の広さを実感しました。また、各々目標を持って渡米してきた学生とともに語り合い、旅行をする中で、国籍は違うといえどみな同じ人間であることに親近感を感じ、よりいっそう仲を深めることができました。今後船橋市からハイワードに派遣される人たちも、アメリカならではの経験と、世界中の友との素晴らしい出会いを満喫してほしいと願っております。



カリフォルニアの自然を満喫する留学生たち

【椎名健一郎さんの手記】 昨年の9月から交換留学生としてカリフォルニア州立大学イーストベイ校に通学しました。

私がこの度、この留学制度に参加することができ、まずは英語が上手に話せるようになりましたし、アメリカでは日本ではできない勉強ができました。特にあまり板書は取らず、先生の話したことをノートにとりながら、しかしながら積極的に発言をしたり、議論しないといけない授業形式は慣れるまで大変ではありましたがよい体験だったと今になって思います。

また、私の元々の目的であった異文化理解・交流そしてそれによる日本文化の理解を深めるという点についても、日本を離れてアメリカから日本を見つめたり、アメリカの文化を知って比較対象を得たことにより、日本にいたら気づかなかったであろうこともたくさん知ることができました。

今後、30周年を迎えた船橋市・ハイワード市の国際交流がますます盛んになることを願って、報告とします。



すっかり仲良し留学生たち